

2019年度TIFA総会

5月18日(土)、午後3時から柴崎会館にてTIFA定期総会が開催されました。会員数73名の内、25名の出席者と43名の委任状をもって総会は成立しました。事務局の味香さんの司会により、木曜教室の柏田さんが議長に選出され議事が進められました。2018年度の各部活動報告が詳細に報告されました。また、2019年度の各部活動計画案、予算案が多数決で承認されました。TIFAのホームページ、予算、運営などに関する活発な質問がありました。令和元年の2019年度は西砂教室、柴崎木曜教室・土曜教室の3教室共に受講生の増加が予想され、サロン「えんがわ」の活動と併せて、TIFA活動の更なる飛躍が期待される総会となりました。



西砂教室ハイキング

5月19日(日)に学習者とボランティアが一緒に24名で狭山丘陵の都立野山北公園へハイキングに行きました。自転車に到着したあと新緑の林の中を歩いて丘と丘の間の谷戸と呼ばれる場所や古い農家をめぐりました。農家では係の方から昔の農家の生活の様子を日本語で説明していただきました。子供さんの参加者もいて歩きながら、お互い言葉の違う大人と子供が仲良くお話をする光景も見られました。丘の上の原っぱでお弁当を食べたり、小ゲームを楽しんだりした後2時ころ帰途につきました。二万歩を超える丘陵ハイキングでしたが子供や2歳の子を抱っこしたお父さんも元気に歩いて5月のさわやかな一日を楽しむことができました。



実施に当たってはボランティアによる車の提供、お弁当の運搬などのバックアップが行われました。



ボランティア懇親会

6月9日(日) 11:30~13:00、TIFAのボランティア懇親会を立川グランドホテル11階オークで開催しました。参加者は木曜教室から5名、土曜教室から12名で、ランチバイキングを食



べながら屈託のない会話をしました。今年度、入会した2名のボランティアから簡単な自己紹介があり、その方々の人柄を知る良い機会になりました。会食をすることでお互いを知ることができ、親睦をはかる上で良いことだと思いますが、西砂教室からの参加者はなく、木曜教室の参加者が少なかったことには少し残念な気がしました。



『ダーリンは外国人』

赤い糸を信じること三十余年、手繰った先にはガーナ人男性が踊りながら待っていてくれました。事実は小説よりも奇なり、とはよく言ったものです。竹野内豊似の日本人男性が待っていて



くれている予定だったため想定外のことでしたが、毎日笑顔をくれる彼との出会いに幸せを噛みしめ、共に生活して半年になります。

海外旅行は好きですが、アフリカは未踏の地。ガーナ共和国に関してはアフリカのどの部分に位置するかも知りませんでした。公用語が英語であること、チョコレート製造のほかに鉱業が盛んなことなど、彼と出会ってから知ったことです。そんな私と主人の間に感じた「異文化」を紹介したいと思います。



・とにかく踊るのが好き

もはや「好き」というよりも彼の一部分なのかもしれません。アメリカンポップスをはじめ、ユーミンでも ONE OK ROCK でも、のれればすぐに全身で踊りだします。もちろん素面です。そんな彼は「歌は踊るためのもの」と言います。カラオケが好きな私にとっては「歌は歌うためのもの」だと思っていたので衝撃を受けました。一度、私が Queen の「Don't stop me now」の歌詞を見ながら口ずさんでいた際、彼は「なんでそんな完璧に歌おうとするの?!」と大層驚いていました。「本物みたいに歌えたら気持ちいいじゃん」と言ってもその感覚が伝わりません。音痴は恥ずかしい! 歌手本人のように音程も歌詞も間違えず歌いたい! という気持ちは、もしかしたら私が日本人だから感じるのかな? と、うろ覚えのメロディーで気持ちよさそうに歌う彼を見て思うのでした。

・心配性

夜9時、「ちょっと行ってくる」と徒歩2分のコンビニへ出かけようすると「We go」と言ってついて来てくれようとする彼。理由は心配だからとのこと。アフリカ大陸の中でも比較的 안전한ガーナであっても夜に女性が一人で出歩くのは危険とされているようです。一度、私が勤め先の上司と飲んで深夜近くに帰ったときのことです。「遅くなっちゃったな～」と思いつつ彼に連絡を入れ、その一時間後に帰着しました。ドアを開けると彼が

立っていて「大丈夫!？」ととても心配していました。聞けば、一報を受けてからずっと窓辺に立って私の帰りを待っていたと言います。彼の故郷では、上司と飲みに行くことは必ずしもいい意味を持たず、色々詮索するときに部下を誘うことがあるようです。“飲みにケーション”なんて言葉は彼の頭には無いのだなと気づいた瞬間でした。それ以降、心配かけないように早めの帰宅を心掛けています。

他にも理解に至るまで時間を要する“違い”を経験していますが、その度に彼と一緒に乗り越えるきっかけをくれます。もし彼が日本人だったとしても“違い”はあったはずなので、壁を感じたとしても「外国人だから分かり合えない」、と諦めるのではなくこれからも一緒に違いを楽しんでいきたいと思います。

西砂教室 受講生・講師交流会

6月29日(土)、まだ梅雨の日午後7時から西砂学習館で受講生・講師の交流会が開かれました。参加者は子供さんも含めて25人くらいで、会場の笹の葉の七夕飾りには自分たちの夢や願い事を書いた短冊が飾られました。全員が自己紹介をしたあと、日本の童謡「たなばたさま」、「夕焼け小焼け」を佐藤部長のリードで二、三回練習してそのあとみんなで歌いました。綿あめやポップコーン

の実演もあってお子さんたちもよろこんでいました。

地元有志(女性)2名による日本舞踊が披露されて、「月が～出た出た～」の「炭鉱節」の踊りも教わって全員輪になって踊ったりしてにぎやかな交流会となりました。

最後はみんなで使った机や食器などを片付けて夜9時過ぎに閉会となりました。



西砂教室 ボランティア紹介

氏名：岡田 良雄 男性 60代 住所：武蔵村山市岸



ボランティア

TIFA入会時期：2016年1月

入会理由：始めてから2年半の間、毎回受講生が変わる月も珍しくなく、母国語も、まちまちで、一定していません。

日本語レベルは N4前後が大半です。一貫した指導ができない状態での授業は結構大変です。

西砂教室での企画・イベント係を担当しています。年数回、公園に出かけたり室内で季節に合わせてゲームをしたりみんなで日本の童謡を歌うなど、受講生の在留期間中が楽しい思い出になるような企画を心がけています。

は、地図帳を活用し出身地（国）の場所、日本との違い（人口や面積など）を題材にしています。レッスンは受講生の希望をお聞きした上で、日本語検定のテキストを中心に進めています。時々、話がそれてしまうこともあります。インプット（知識）したことをアウトプット（話す、書く）することを大切にしています。

氏名：段村 優介 男性 30代 住所：昭島市武蔵野

TIFA入会時期：2018年12月

入会した理由：日本で暮らしている外国人達が楽しい人生を送れるよう力になりたいため。

今まで教えた受講生：

台湾人 20代後半 男性



ボランティア

どのように教えているか：授業は基本的に1対1。前半はN2の問題集のわからなかったところの解説。後半はフリートーク。毎回トピックを変えてそれについてお互いどう思っているか話し合う。

教えていて楽しいこと：自分の説明が相手によくわかったといってもらえた時はもちろん、逆に授業を通して相手から知らないことを教えてもらったとき。

教えていて難しいこと：文法の説明、話し言葉で使う終助詞、動詞の後続句、動詞の活用など。

氏名：竈土 愛浪 女性 20代 住所：立川市一番町



ボランティア

TIFA入会時期：2018年

今まで教えた受講生：中国やベトナムの技能実習生の方を担当してきました。

受講生には日本語教室での授業や活動を通して、

日本語を十分に話せなくても他者とコミュニケーションが取れる、社会に参加できるということを実感して欲しいと思っています。そして、授業では受講生の希望に沿った、柔軟な活動をするように心がけています。また、「楽しい」、「ためになる」学びになるように、興味・関心を引き出したり、身の回りの生活について聞いてみたり、受講生との対話を大切にしています。

氏名：廣常 幸子 女性 住所：立川市一番町

TIFA入会時期：2017年4月

入会理由：日本にいる外国人の方が地域社会に参加できるように、手助けをしたかったから。

今まで教えた受講生：

フィリピン、中国、ベトナム。



ボランティア

どのように教えているか：主に「みんなの日本語」を使用しています。文法の説明、語彙などは時々自作のプリントを使用します。なるべく、絵や文字を書いて、学習者の方の理解が進むよう努めています。教えていて楽しいこと：学習者の方々を通じて日本や日本語について改めて学ぶことがある、と感じています。

教えていて難しいこと：助詞の意味と使い分け。

氏名：後藤 直子 女性 住所：立川市



ボランティア

TIFA入会時期：2014年

入会理由：少しでも、日本で暮らす外国の方のお役にたてたらと考えて入会しました。

今まで教えた受講生：

これまでの受講生の出身は、フィリピン、中国、アメリカ、ベトナム。皆さん、「想い」をもって西砂教室に通われています。

教えていて楽しいこと／難しいこと：初めて来られた受講生に

西砂教室 講習会及び懇談会

講習会及び懇談会を開催します。是非ご参加ください。

タイトル：「やさしい日本語で外国人とつながろう！」

講師：国際基督教大学教授 シニア・アドバイザー
半田淳子先生

会場：天王橋会館学習室（定員40名）

日時：令和元年8月31日（土）

講習会：15時～17時 懇談会：17時～19時

会費：講習会：無料 懇談会：1000円

参加者の構成（予定） TIFA会員20名 一般参加者20名

応募方法：協働推進課へ電話で申し込み（先着順）

メール：satoh@tifa-n.net（先着順）

電話受け付け：042-531-5181

木曜教室 七夕祭り

7月4日、授業を早めに終えて11時過ぎから七夕をしました。サンバーナディノ市からの交換留学生3人も参加してくれました。一同が会した作業室には、天井に届くほどの立派な笹竹が立てられ、スタッフから配られた短冊に皆それぞれの願い事を書いて和気藹藹と飾り付けていました。受講生の中には日本語で願い事を書いた人、母語で書いた人など色々と、世界中の多くの国から外国人が立川の日本語教室に来ていることを改めて実感させられました。齋藤会長が用意してくれたプリントを手に全員で「たなばたさま」を大合唱しました。毎年恒例とはいえ、歌

をととして美しい日本語にふれ、五節句の一つである伝統行事の紹介をすることは大切だと思いました。そして毎年、その日の朝に笹竹を教室に運んでくださっているボランティアの皆さんに感謝いたします。



土曜教室 七夕祭り



7月6日（土）約20分間授業をして、そのあと3階の作業室に集合して七夕祭りを行いました。まずはみんなで一緒に、願いごとを書いた短冊やあみ飾り等の飾りものを竹の葉に吊るし、数人の受講生は自分が書いた願いごとを読み上げました。

習字の硯と筆も準備され、中にきれいな字を書く受講生もいて、ビックリしました。最後にみんなで“たなばたさま”の歌を歌い終了しました。



東京都国際交流委員会からの情報

外人の為の生活情報冊子「Life in Tokyo : Your Guide」がスマートフォンで見られるようになったそうです。

対応言語：日本語・英語、中国語、韓国語

サイトへのアクセス方法：URL：<https://yourguide.jp/>

TIFA会員動向

【入会者】

木曜教室：藤本東子

土曜教室、西砂教室：なし

【退会者】

木曜教室、土曜教室、西砂教室：なし

【休会者】

木曜教室：鴻池昌代

土曜教室、西砂教室：なし

今後の予定

- ・西砂教室講習会及び懇談会：8月31日（土）
- ・木曜教室2学期開始：9月5日（木）
- ・土曜教室、西砂教室2学期開始：9月7日（土）